

ほんごう

札幌市立本郷小学校
学校だより
令和8年4月30日
No. 2

「自走する力」のある子どもへ

学ぶ力育成部 伊藤 あかり

本校が、UDL（学びのユニバーサルデザイン）を授業に取り入れるようになり、2年が経ちました。UDLとは、主体的に学習に取り組む子どもたちを育てるための授業の形の事です。UDLでは、「何を」「どのように」「なぜ」学習するのかという三つの要素で学びを捉えています。教師は、子どもたちがどこでつまづくのかを事前に予測して、学習環境を整えることで、どの子どもたちも学習に取り組めるようにします。

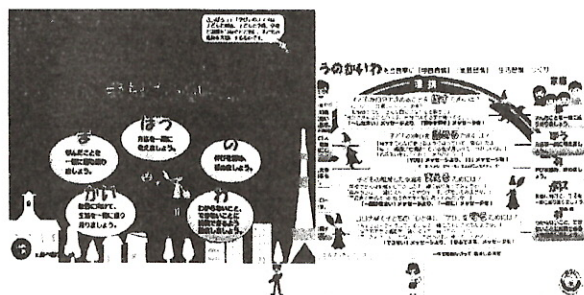
昨年度までは、授業のゴール（目的）を明確にし、子どもたちが自分に合った方法を選択して学習に取り組みました。その結果、子どもたちの学習意欲は高まり、自分で学びをつくっていかうとする姿が増えてきました。

今年度は、「友達に説明するときにはどのように伝えたらよいのか」「みんなと共有するためにはどんな言葉を使えばよいのか」といった、話し合っ解決する力を高めていけるよう取り組んでいきます。

このような学びを積み重ねていくことで、札幌市が大切にしている【自ら「～したい」ことを見つけて、自分でどうすればよいかを考えたり、話し合ったりして、解決していく力を身に付けていく】姿（＝自走する力）を実現できるのではないかと考えています。

学校で新しい知識に出会い、家庭での学習でそれを自分のものにする。このサイクルの繰り返しが、将来、自ら人生を切り拓いていくための「自走する力」へとつながります。大切なのは、点数という結果以上に、課題に対してどう向き合ったかという「姿勢」です。保護者の皆様の「今日も机に向かえたね」「計画通りに進められたね」という温かい見守りとサポートで、子どもの自己肯定感と学習意欲は大きく高まります。子どもは、「漢字は必ず10回書く」といった画一的な方法ではなく、「これなら覚えやすい!」と感じる自分なりの方法を探している途中です。学校と家庭が手を取り合い、授業と家庭での学習を効果的に組み合わせ子どもたちが自分らしく学びを進めていけるよう、ご支援をよろしくお願いいたします。

さっぽろっ子「学び」のススメ



さっぽろっ子「学び」のススメの裏面の下には、左側に子どもが目標を書き込むスペースがあります。

学校で目標を決めて、持ち帰ります。その目標に向けて取り組んでいる姿に対して、肯定的な声掛けをお願いします。

そして、右側には、子どもの1年間の取組を振り返り、共感的・肯定的なメッセージを書いてください。目標を決めるのも、振り返るのも「まほうのかいわ」でお願いいたします。

来週にご家庭に持ち帰る予定です。

再度のお願い

ご来校の際は、ネームホルダーの着用をお願いします。